

当社におけるアスベスト（石綿）の使用状況等のお知らせ

1. 当社におけるアスベスト含有製品の製造状況

当社は現在製造および販売しているすべての製品にアスベストは一切使用しておりません。

過去に製造した製品の一部にはアスベストを使用したものがありましたので、その使用状況についてお知らせいたします。使用していたアスベストの種類はすべてクリソタイル（白石綿）です。

製品分類	製品名称	製品構成	製造工場	製造期間
ルーフィング類	石綿ギルソイドルーフィング	①	宮城工場	1937年～1987年
	石綿砂付ルーフィング		宮城工場	1950年～1970年
	石綿フェルト	②	宮城工場	1937年～1977年
	アスベース		宮城工場	1970年～1972年
接着剤・コーチング類	アスベストコーチング	③	購入品	1940年～1981年
	アスファルトコーチング		購入品	1940年～1981年
	シングルセメント		購入品	1954年～1979年
			埼玉工場	1980年～1990年
	フネンセメント		埼玉工場	1981年～1985年
	アスタイトセメント		埼玉工場	1980年～1990年
	レイコーセメント		埼玉工場	1980年～1990年
	強力コーチング		埼玉工場	1980年～1990年
強力コーチングA	埼玉工場	1980年～1990年		
硬質ウレタンフォーム 断熱材用の面材	ギルボード	④	宮城工場	1971年～1979年
	ギルフォーム	⑤	購入品	1983年～1991年
立上り乾式保護材	FGボード	⑥	購入品	1994年～2001年
	MHボード	⑥	購入品	1993年～2001年

* 屋根材「シングル」「フネンシングル」には生産開始当初から一切アスベストは使用しておりません。

構成 ①	石綿と岩綿（無害）の混抄シートに溶融アスファルトを含浸し、上下面にアスファルトを塗覆した1m幅の防水シート。
構成 ②	石綿と岩綿（無害）の混抄シートに溶融アスファルトを含浸したフェルト状の1m幅の防水シート。
構成 ③	アスファルトを有機溶剤でカットバックした半液状の物質。粘度調整の目的で石綿を添加してある。施工後、有機溶剤の揮発により固化する。

構成 ④	硬質ウレタンフォーム断熱材の表裏面に、石綿混抄シートに溶融アスファルトを含浸塗覆したシート状の面材を貼り合わせたもの。寸法安定性、接着性の向上を目的としている。
構成 ⑤	硬質ウレタンフォーム断熱材の表裏面に、ガラス繊維と石綿の混抄シートにアスファルトを含浸した薄いフェルト状の面材を貼り合わせたもの。寸法安定性、接着性の向上を目的としている。
構成 ⑥	押出し成型セメント板

工場所在地： 宮城工場 東京都足立区宮城
 埼玉工場 埼玉県鶴ヶ島市

2. 解体工事及び廃棄処分について

前項の製品はすべて「非飛散性アスベスト廃棄物」に分類されます。「石綿障害予防規則（平成 17 年 7 月 1 日施行）」及び、「非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針（平成 17 年 3 月 30 日環境省通達）」等に従って処理してください。

3. 健康障害の発生状況について

工場従業者、退職者、関連社員において問題は発生しておりません。

4. 工場周辺からのアスベストに関する問題について

工場周辺地域からの、アスベストに関する問題は発生しておりません。

以 上